

## ハートワークフェアによる効果

私たちの住んでいる町やこの町で働く人は輝いている

分野をこえて未来の人材へ種をまく「10年後の人材への種まき」

平成29年5月より実施されている日の出町ハートワークフェアも今年で2回目を終え、来場した方に福祉の仕事のすばらしさを伝えることができたと共に、業種の違うさまざまな事業所が1つのイベントを実施することにより、各事業所間での交流や連携が進み新しい取り組みが生まれました。

### 成果①・・・福祉施設の雰囲気向上

ハートワークフェアでの施設職員の明るい雰囲気を見て夏体験ボランティアで行ってみたいと感じた参加者が増加。また、将来の仕事として、施設での活動を体験したいといった動機で参加している人も増加。(参加者数 前年度実績124名から162名、延べ活動数 379回から485回へ増加)

### 成果②・・・福祉施設職員の意識の変化

福祉施設は施設入所者・利用者だけのものではなく、地域に貢献できる存在として認識を持ち地域活動や、ボランティアの受け入れなど積極性が生まれた。イベント実施後に行われた社協主催の夏体験ボランティアではプログラム内容を各事業所で見直しを行い、プログラム数もハートワークフェア開始前の52から昨年は70に増加し、今年度は90まで増えている。将来の仲間になってもらえるためのきっかけとして夏ボラを利用し始めている。

また、今年度については、より一層プログラムへの取り組み方が変わり、今まで、ボランティアを受け入れることは職員への負担が高いといった、職員側の都合が多かったが、何をしたら利用者さんが喜んでくれるのか、普段接している職員の方が、もっとしてあげたいことを考え、利用者さんの笑顔のために、担当者だけで考えるのではなく施設全体でボランティアを受け入れるためのプログラム作成や、施設にできることを考えてくれるようになってきました。

成果③・・・施設間連携や公益活動への意識増加

ジャンルを超えて施設間の交流ができたことにより、新たな施設間交流ができたことや、地域に向けた新たな取り組みが生まれてきている。

昨年の第1回目から生まれた事例

事例1) 第3サンシャインビラと日の出幼稚園との交流事業

児童の施設訪問による歌の披露

事例2) 藤香苑 地域の方との交流事業

地域の方をお招きしたホーム喫茶実施

事例3) 藤香苑と大久野保育園

児童がバス待ち時間に待機場所として高齢者施設を利用

事例4) 栄光の杜 障がい理解講演会実施

イオンにて「片腕のギタリスト湯上輝彦トーク&ライブ」実施(昨年実施)

事例5) 大久野保育園 子育てイベント実施

事例6) 日の出が丘病院 ホスピスを知ってもらうための講演会実施

今年生まれた事例

事例1) 第3サンシャインビラと日の出幼稚園との交流事業

今年は、地域の方が園児の移動の見守りに参加

事例2) ひのでホームと栄光の杜での利用者将棋交流

栄光の杜の利用者がひのでホームに訪問して将棋対決。

事例3) 栄光の杜 福祉映画等の計画あり

事例4) 大久野病院・新清快園がボランティア育成に協力

傾聴ボランティア団体のスキルアップの講師として大久野病院が講師派遣、新清快園が会場提供

事例5) 日の出太陽の家 高齢化した利用者さんのために高齢者施設の見学

第3サンシャインビラと栄光の杜を施設見学(障がいと高齢の連携)

事例6) 夏体験ボランティア参加事業所増加

ファミリート日の出、ウエルピア白寿、大久野病院がプログラムを提供

事例7) ハートワーカー勉強会 宝光保育園

月1回のペースでジャンルを超えてハートワーカーが交流し勉強会を実施

この他にも、様々な効果が生まれてきています。

日の出町ハートワークフェア2018参加事業所一覧

子育て	(6 事業所)
	社会福祉法人 志正会 大久野保育園
	社会福祉法人 さくらぎ会 さくらぎこぼん
	社会福祉法人 さくらぎ会 さくらぎ保育園
	社会福祉法人 精和福祉会 大正保育園
	学校法人 野口学園 日の出幼稚園
	社会福祉法人 八晃会 宝光保育園
障がい	(5 事業所)
	特定非営利活動法人 秋川流域生活支援ネットワーク
	社会福祉法人 太陽福祉会 日の出太陽の家
	社会福祉法人 同愛会 日の出福祉園
	特定非営利活動法人 日の出もみの木
	社会福祉法人 山の子会 山の子の家
高齢	(11 事業所)
	社会福祉法人 青梅白寿会 ウェルピア白寿
	社会福祉法人 ほうえい会 栄光の杜
	社会福祉法人 櫻継会 幸神さくら
	社会福祉法人 清快福祉会 新清快園
	社会福祉法人 清快福祉会 清快園
	社会福祉法人 福陽会 第3サンシャインビラ
	社会福祉法人 道心会 藤香苑
	医療法人社団 秀仁会 日の出さくら
	社会福祉法人 櫻灯会 日の出紫苑
	社会福祉法人 芳洋会 ひのでホーム
	医療法人 互生会 ファミリート日の出
医療	(2 事業所)
	医療法人財団利定会 大久野病院
	医療法人社団崎陽会 日の出ヶ丘病院

合計 24 事業所

※この他、日の出町社会福祉協議会 日の出町ボランティアセンターが中間支援組織として参加

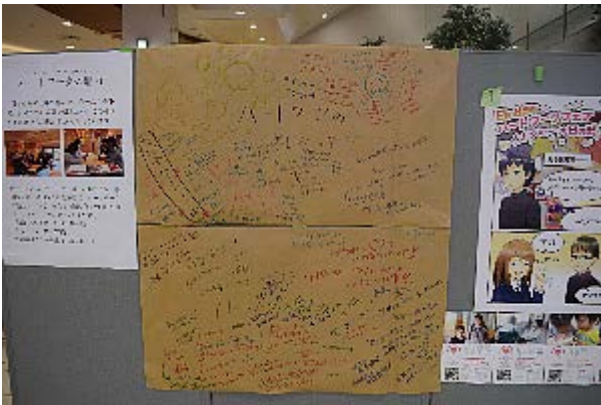
日の出町ハートワークフェア2018概要と実績



イオン開店前の集合写真



イオン開店までに会場準備



「ハートワークとは」を議題にグループワークした内容を掲示



ハートワーカーがわかる漫画を掲示



秋留台高校のボランティア9名が会場準備等に参加(学校を通じて単位として参加)



お客様入店時は他店舗同様あいさつ





ひのでちゃんて会場を盛り上げる



実行委員長ひのでホーム斉藤施設長の開会挨拶



朝から満員の会場



トークセッションはキッズコーナーがあるので保護者も安心して聞くことができる。



福祉用具コーナー(車椅子体験等)



日の出町ハートワークフェア 2018 を終えて



来場者の「みんなの夢」を付箋で掲示



掲示した漫画は大人の方が注目！



事業所紹介は利用者さんと一緒や、職員による歌やダンスなど様々な内容で、来場者を楽しませました。スタッフは、相談コーナー、フロア担当、ステージ担当、キッズコーナー、福祉用具コーナーなどすべて参加事業所の職員が担当して実施。



トークセッション 子育て、障がい、高齢・医療で3ステージ実施。





ライブ



地元アイドルマウンテンズのライブは子どもから大人まで満員！



お年寄りスペクト隊による寸劇とライブ。会場の皆さんと一緒に体操。



最後はハートワーカーみんなでテーマ曲「ハートワーカーの歌」「Go!Go!ハートワーカーズ」を熱唱！

## 日の出町ハートワークフェア 2018 を終えて

### 相談コーナー実績

相談件数 6件

内訳：子育て施設利用について	1
地域の孤立	1
ボランティア	1
就職	2（医療）
その他イベント助言	1

その他（相談ではないが、相談コーナー担当者が話をした件数） 1 2

### 来場集約

トートバック 1,000 個用意 イベントに参加していただいた方に配布  
(車椅子体験、相談、ステージ鑑賞者に配布)

### 最後に

「地域における公益的な取組」については、平成 28 年に成立した社会福祉法等の一部を改正する法律(平成 28 年法律第 21 号)による改正後の社会福祉法第 24 条第2項の規定に基づき、平成 28 年4月から、当該取組の実施が法人の責務として位置付けられています。

厚生労働省においては、子ども、高齢者、障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合える地域共生社会の実現を目指し、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる地域づくりへの支援とともに、複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを進めています。としています。

日の出町においても社協が法人ネットワークの構築を進めていますが、それ以前に、既に種別を超えて連携が始まっています。この様な、社会福祉法人だけでないつながりは全国的にもまれで、非常に先駆的な取り組みが始まっています。

幼稚園・保育園の保育士さんによる、バンドの「マウンテンズ」や、介護事業所等の職員が、顔の見える関係作りを目指し、結成された「お年寄りスペクト隊」なども、その業界にとどまらず、自治会のイベントや、施設の行事、町のイベント等で活躍しています。現在は、日の出町に留まらず、イベント等で活躍しています。

### ハートワークフェアに参加してくれた方が

歌ったり踊ったりしている職員の姿を見て、こんなに色々な種別の方々が連携して楽しく働いている日の出町に住んでいることにうれしく思い、自分の将来にもたくさんの方のサポートがあることを知ることで安心しました。と語ってくれました。

地域、事業所みんなが日の出町を好きで支えあうまちづくりを進めています。

以上